

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	936.50	2021/12/6
High	969.00	2021/12/8
Low	928.10	2021/12/6
Close	946.65	2021/12/10

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3398.00	2021/12/6
High	3533.00	2021/12/8
Low	3376.00	2021/12/6
Close	3450.00	2021/12/10

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1823.00	2021/12/6
High	1886.00	2021/12/7
Low	1741.00	2021/12/10
Close	1763.00	2021/12/10

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6586.00	2021/12/6
High	6827.00	2021/12/7
Low	6335.00	2021/12/10
Close	6419.00	2021/12/10



ニュースエクスプレス

ノーザム、Robert Friedland率いる Ivanplats社の 鉱山から戦略的な取引締結でプラチナ購入

ノーザム・プラチナム (Northam) は2024年に生産を始めるIvanplats 社のプラットリーフ鉱山のPGM鉱石の50%を今後10年間購入すると発表した。

南ア・リンボポ州に位置するプラットリーフ鉱山は、現地に精錬所を建設する計画がないため、採掘した鉱石の最終的な加工場所が懸案となっていたが、この取り決めにより同鉱山開始に関して大きな懸案の一つが解決したことになる。

PGM鉱石の精錬は、まず主なベースメタルである銅とニッケル、その後にプラチナ、パラジウム、ロジウム、ゴールドを分離するための複雑な冶金工程が必要となる。

インバラ・プラチナムやアングロ・アメリカン・プラチナムなど大手生産者はそれぞれ独自の精錬技術を使っており、ノーザム・プラチナムのPGM鉱石は独

ヘレウス社が精錬している。

ノーザム・プラチナムの取引はプラットリーフ鉱山第1期から生産される PGM 鉱石を年間2万トン購入するものではあるが、カナダIvanhoe Mines の南アフリカ子会社である Ivanplats はそこから最大5000トン差し引き、年間1万5000トンとする権利を有する。

ノーザム・プラチナムのCEO Paul Dunne は、「我々は重要な鉱石の将来の供給源が確保できたことに満足している。鉱石の含有比率は我々のオペレーションに非常に適しており、我々の採掘計画を補完するものとなるだろう。」と述べている。

「この取引は鉱山から市場まで全体を含めた我々のビジネスに対するリスク管理と今後10年に渡って供給の多元化を図る一環であり、柔軟な対応が可能となるだけでなく、最近規模拡大をした冶金加工施設の利用にもつながる。」

<https://www.miningmx.com/news/platinum/48340-northam-strikes-strategic-deal-to-buy-platinum-from-robert-friedlands-ivanplats-mine/>

Jefferies の2022 年の金属市場予測は強気

米金融サービス会社Jefferies は、『Same old song and dance for 2022』と題したレポートの中で「2022 年の鉱山ビジネスの展望はファンダメンタルズとバリュエーションからすると強気だ。」と述べている。

「ベースメタル、特に銅とアルミニウムについては最も強気で、鉄鉱石と石炭については最も慎重な見方をしている。」

Jefferies は中国の需要が大きく変化すると予測しており、工業と銅セクターのような、これまで経済を牽引してきた要因は弱まり、新しい経済セクターの需要が伸びるとしている。「中国経済は鉄鋼、石炭先導から、銅・ニッケル・アルミニウム、その他のエネルギー転換に必要な金属の需要が先導するものへと変化するだろう。」

また経済回復に関しては楽観的で、先進国経済は成長を続けるとしている。

「さらに発展途上国の需要もワクチン接種率が上がって回復し、2022年は非常に好調となって、弱気組は不意打ちを喰らうだろう。」

「発展途上国でのワクチン接種が進めば、我々の分析によると、まだマーケットには織り込まれていないレベルで世界経済の回復は大きく進むだろう。」

一方供給は市場が織り込んでいるより低いとも。「マーケットの一般的な見方よりも少ないとする我々の供給予測には、一年前は全く他からの賛同が得られなかった。」

「それどころか、我々が一年前に出した2021年の銅の鉱山供給予測は、500万トン過剰だった可能性が高い。」

Jefferies によると銅の生産は再び予測以下となり、長年期待され続けてきた供給の激増は起こらないだろうとしている。

「銅の生産は予想以上に少なく、需要増加により銅の価格は上昇するだろう。」

「その他のベースメタルとPGMも、需要の回復と限られた供給で価格が上昇するだろう。」

<https://www.mining-journal.com/copper-news/news/1422844/jefferies-paints-bullish-picture-for-2022-metals-markets>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- プラチナを触媒に使うPEM 電解装置は1950年代に宇宙開発プログラムの一環として開発されたが、グリーン水素の需要が増える中で大きな注目を集めている。その背景には脱炭素化を進める技術が必要とされていること、再生可能電力の規模拡大とその製造コスト減に伴ってグリーン水素ビジネスに将来性が生まれてきていること、そしてPEM 電解技術の発展などが挙げられる。詳しくはプラチナ豆知識「電解装置のプラチナ」（2021年12月8日）をご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum/2021/12/08>

- 2021年第三四半期のプラチナクォーターリーレポートができました。詳しくは下記のリンクからご覧ください。
<https://platinuminvestment.com/supply-and-demand/platinum-quarterly>



(@wpicjapan)